

令和8年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (1月21日実施)	総合評価（3月31日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎学力の定着を図るとともに、それらを活用する力を育むためのカリキュラムを継続する。 ②主体的・協働的な学びを通じて生徒の学ぶ意欲を高める。	①多様な学習の機会を設け、基礎学力を定着させる。 ②生徒が主体的・協働的に学ぶ授業実践に向け、授業研究を継続して実施する。	①小テスト等において学習状況を把握するとともに学習習慣を確立する。 ①学習内容の習熟の程度に応じた、課題学習、補充的な学習などの個に応じた学習活動を取り入れる。 ②単元のまとまりごとに科目担当で共有し、指導と評価の計画に基づく学習評価を行い、生徒の学習状況を把握し、指導の改善に生かす。また、生徒が協働的に学ぶ授業実践を行う。	①学習の習熟度に応じた課題学習を授業全体に対して導入し、生徒の意欲を高めることができたか。 ①授業全体を通して、個に応じた授業展開を実践できたか。 ②校内研究授業を計画的に進めることができたか。生徒が協働的に学ぶ授業展開を実践できたか。					
2	生徒指導・支援	①生徒の課題に応じた指導や支援を行うために教育相談活動を推進する。 ②学校生活のあらゆる場面を通して他者理解、自己理解を深め、社会性、規範意識を育み豊かな人間性を涵養する。	①全ての生徒が成長、発達の課題や困難を抱えているという認識をもち、校内外の関係機関と連携・協働し適切な支援を行う。 ②特別活動等さまざまな場面で生徒の他者理解、自己理解を進める。 ②「育てる」生徒指導を推進し、安全・安心な学校環境を築くとともに規範意識を育成する。	①個人面談や日常的な関わりから生徒理解を深め、学校全体で課題を共有する。 ①SC・SSWとも連携して課題解決にむけて全ての教員で取り組む体制を構築する。 ②学校での共有体験を通して他者に配慮する姿勢や規範意識を身につけさせる。生徒への「言葉かけ」を積極的に行い生徒の社会性を高める。	①全ての生徒に対して、小さな変化や課題を見逃さず、学校として情報共有できたか。また適切な支援ができたか。 ①SC・SSWを交えケース会議等の情報共有を実施できたか。 ②生徒の自己理解、他者理解を深め、社会の一員としての資質を高めることができたか。また、全ての生徒が安心して過ごせる教育環境を整えることができたか。					
3	進路指導・支援	①学年に応じた計画的なキャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を高め、希望進路の実現に繋げる。 ②外部と連携したキャリア教育によって勤労観や職業観を育み、社会的、職業的な自立を促す。	①生徒の進路希望の実現に向け計画的にガイダンスを実施する。 ②外部教育力を活用したキャリア教育を実施する。	①外部機関と連携したキャリア教育により、勤労観や職業観を育み、進路について目標を持たせる。 ②希望進路の実現に向けて必要な資質の育成を目指し指導・支援する。	①生徒の希望する進路実現に向け支援し、生徒一人ひとりが納得する進路実現ができたか。 ②生徒の自己実現に向けて学習指導を行うとともに、社会の一員としての資質を身につけさせることができたか。 ②教職員からの声掛け等を増やし、生徒自ら行動できるように支援できたか。					
4	地域等との協働	①地域との協働において保護者との連携を深め、積極的に地域貢献活動を行う。 ②コミュニティスクールを活用した地域との連携をより一層深めるとともに、開かれた学校づくりを継続して推進する。	①地域貢献の一環として、地域の清掃活動を行う。 ②地域に生徒が貢献できるような、教育活動を実施する。	①地域清掃を設定し、地域交流を推進する。 ②避難訓練等、地域との連携を図る。 ②定時制の文化発表会での地域住民の参加、見学含め交流企画する。	①地域と連携した活動を工夫して行うことができたか。 ②特別活動の場において、生徒が積極的に地域を知ることができたか。また積極的に交流することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①HP等のツールを活用し、本校への理解を深める。	①広報活動を適切な時期に実施する。	①広報活動を精査し、中学校への周知を充実させる。 ①HPにおいて、適切な情報の発信を行い、定時制への理解を深める。	①広報活動としてHP等を活用し、適切な情報を掲載することができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (1月21日実施)	総合評価(3月31日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		②教職員の仕事を引き続き精査し、組織的な学校運営を進め、校務の効率化を図る。	②ICTの活用により、情報共有を徹底する。	②ICTの更なる活用により、教員間の情報共有を円滑にし、グループ横断的な視点を持てるようにする。	②教員間での情報共有が徹底できたか。また、全体的な視点をもって個々の職員が業務にあたることができたか。					